

ASPI 令和8年度 第1回勉強会(A) 「対領空侵犯措置の現状と課題等について」



https://th.bing.com/th/id/R.d97332e11fd769712ccc55ca6b4b3721?rik=swX4XMujlCbijQ&riu=http%3a%2f%2fwww.clearing.mod.go.jp%2fhakusho_data%2f2014%2fimage%2fphoto03010002.jpg&ehk=NkZvNZbsMxHamqjGFJqxKTbSleSC61yRIMpVg6zGUEI%3d&risl=&pid=ImgRaw&r=0



<https://www.mod.go.jp/j/press/wp/wp2018/serve/img/scramble01.jpg>

令和8年4月18日 LUCKY

2025年度(令和7年度)緊急発進実施状況について (統幕 報道発表資料(2026.04.17))

○報道資料

- 全般 **595回/年←704回/年(2024年度)**
- 方面隊別の状況
- 2025年度の特徴:①5月、領海侵入した海警船舶から発艦したヘリによる領空侵犯事案、②12月、空母艦載機J-15によるレーダー照射事案

○添付資料

- 年度緊急発進回数推移
- 航空方面隊別緊急発進回数推移
- 緊急発進の対象となったロシア機及び中国機の飛行パターン例
- 2025年度における空自機の対応の様子
- 領空侵犯公表事例(計49件)
- 2025年度における領空侵犯公表事例一覧
- 2025年度における特異飛行公表事例一覧

説明項目

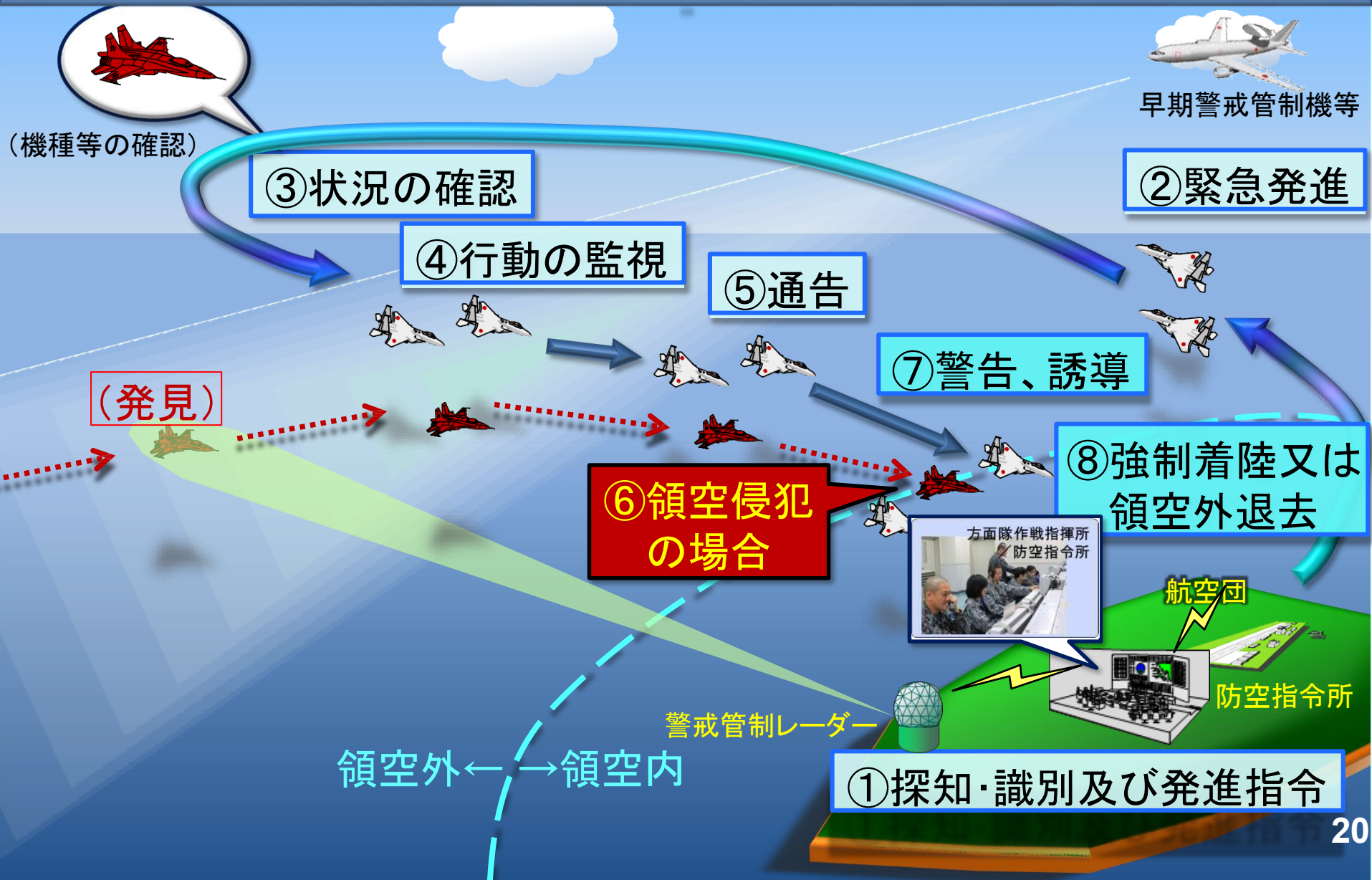
- 対領空侵犯措置とは
 - 概要
 - 法的位置づけ
 - 諸外国におけるスクランブル対応の状況等
- 我が国周辺における航空活動の現状等
 - 全般状況
 - 対領空侵犯措置の状況等
 - 最近の特異な活動等
- 今後の課題等

対領空侵犯措置とは

- 国際法上、国家はその領空に対して完全かつ排他的な主権を有している。対領空侵犯措置はこの措置を実施できる能力を有するのは自衛隊のみであることから、自衛隊法第84条の規定に基づき、第一義的に空自が対処している。
- 空自は、わが国周辺を飛行する航空機を警戒管制レーダーや早期警戒管制機などにより探知・識別し、領空侵犯のおそれのある航空機を発見した場合には、戦闘機などを緊急発進(スクランブル)させ、その航空機の状況を確認し、必要に応じてその行動を監視している。さらに、この航空機が実際に領空を侵犯した場合には、退去の警告などを行っている。(防衛白書令和5年)



対領空侵犯措置に関する一連の流れ(イメージ)



法的位置づけ

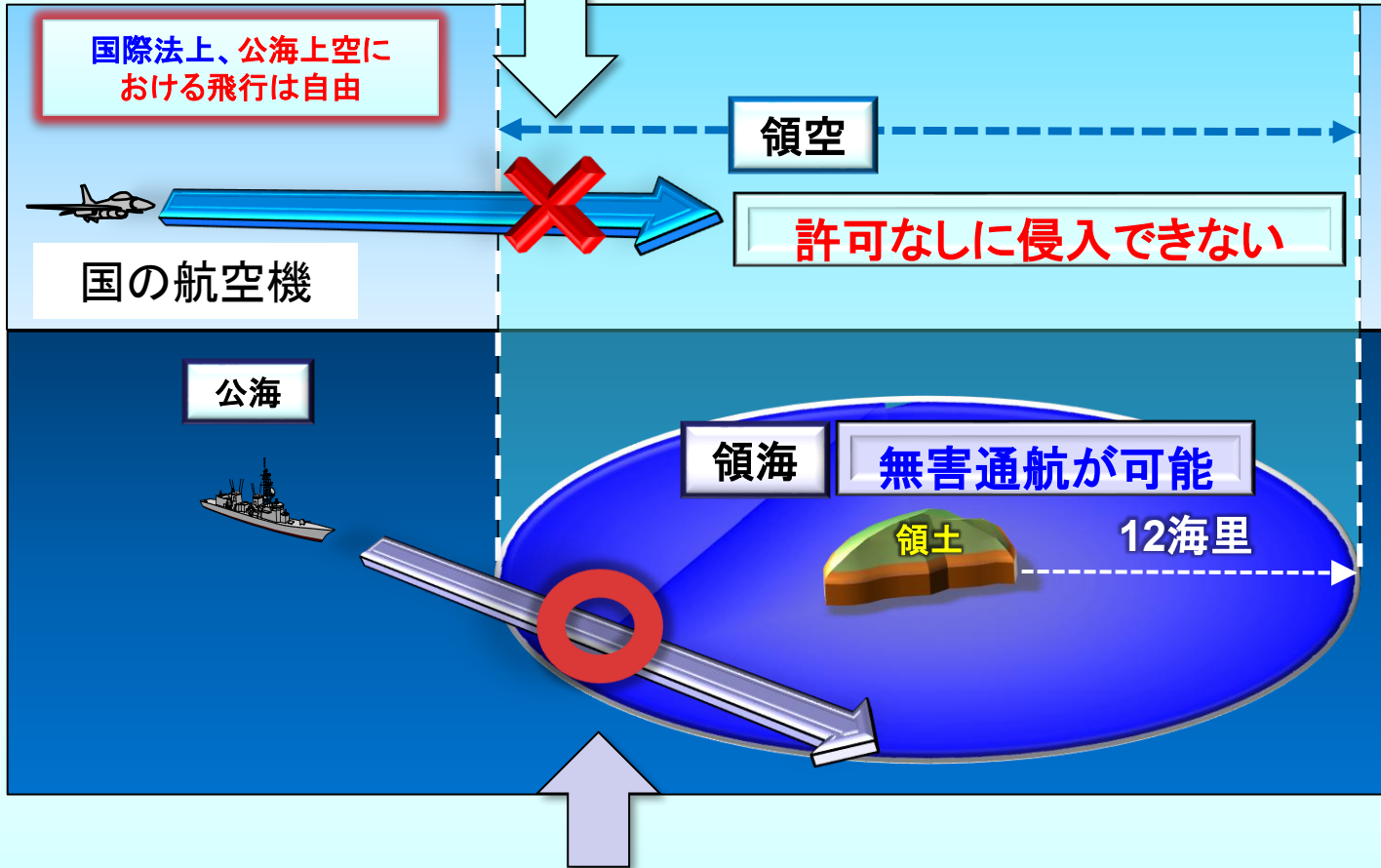
○国際民間航空条約(シカゴ条約)

- 1944年、連合国と中立国の52か国がシカゴで開催された国際会議で採択された条約、日本は1953年に条約に加盟
- シカゴ条約は国際民間航空の安全かつ整然とした発展を促進するための基本的な枠組みを提供
- シカゴ条約の目的
 - 領空主権の確認: 各国の領空に関する主権を再確認し、航空機の法的位置づけを定めること
 - 国際民間航空の効率的運営: 民間航空の運営における効率性と秩序を確保するため、二国間でのルールの明確化を促進すること
 - 国際民間航空機関(ICAO)の設立: 条約に基づきICAOが設立され、国際的な航空運送業務や安全基準の策定を実施
- 第1条 締約国は、各国がその領域上の空間において完全かつ排他的な主権を有することを承認する。
- 第3条 この条約は民間航空機のみ適用するものとし、国の航空機(軍、税関及び警察の業務に用いる航空機)には適用しない。

領空主権の排他性

国際民間航空条約 第1条

「各国がその領域上の空間(=領空)において完全かつ排他的な主権を有することを承認する。」



↓ 領空侵犯から領土上空まで1分半

例】時速1000kmの戦闘機

航空機のスピードは速いため、領空保全是、国民の生命・財産の防護に直結

国連海洋法条約 第17条

「すべての国の船舶は、…この条約に従うことを条件として、領海において無害通航権を有する。」

隊法第84条 領空侵犯に対する措置

- 自衛隊法 第6章「自衛隊の行動」に規定される行動任務の一つであり、1965年から空自が単独で実施している。
- 「防衛大臣は、外国の航空機が国際法規又は航空法（昭和二十七年法律第二百三十一号）その他の法令の規定に違反してわが国の領域の上空に侵入したときは、自衛隊の部隊に対し、これを着陸させ、又はわが国の領域の上空から退去させるため必要な措置を講じさせることができる。」
- 上記を根拠に「領空侵犯の恐れのある」彼我不明機への対応として、識別、緊急発進、通告・警告、領空侵犯した際の採証の要領等が空自規則等で詳細に定められている。

対領空侵犯措置に関わる経緯

- 連合軍の占領下にあった日本周辺の防空任務は極東米空軍隷下の**日本防衛空軍(JADF)**が担任
- 1952年頃、北海道領空内へのソ連軍機の飛来が急増、米空軍機と空中戦に至るケースもあり、日本の安全保障に対する重大な脅威と認識
- 保安庁は創設されていたものの領空侵犯機を有効に排除しうる航空戦力を有しておらず、日本政府は領空侵犯が発生した場合には**在日米軍の協力を得てこれを排除する措置を決定**
- 1954年に防衛省／航空自衛隊が発足すると領空侵犯機に対する対応は空自に引き継がれることとなり、自衛隊法第84条として領空侵犯に対する措置に関わる規定が制定、関連規則が整備
- 対領空侵犯措置を実施しうる航空防衛力の整備はなかなか進まず、防衛庁長官による対領空侵犯措置の実施を命ずる一般命令が発出されたのは1958年2月
- 当初の待機時間は平日の1000～1400の4時間、人員充足と体制の整備が進むにつれて日出から日没までの昼間待機に移行、更に夜間を含めたアラート待機に拡大。**1964年10月に空自全方面隊で昼間待機の態勢が整い、1965年6月米空軍による警戒待機が終了。**以降、空自が24時間／365日のアラート待機により対領空侵犯措置任務を実行



防空演習で緊急発進の訓練をする隊員(1958年)

https://d1uzk9o9cg136f.cloudfront.net/f/16783594/rc/2024/06/05/103eb63a23f9b8c06d641ae99780ef570d7f4588_xlarge.jpg



西部航空方面隊編成完結式(1961年)

防空識別圏 (ADIZ)とは

- 各国が国土防空上の必要性から領空とは別に設定した空域のこと。自国の主権の及ぶ範囲ではなく、強制力を発動する法的な根拠はない。
- 民間航空機の航空での安全のために国際的に割り当てられ、各国が分掌管理する飛行情報区 (FIR)とは異なる。
- 米国がADIZを1950年に設定、連合国占領下の日本では米極東空軍が国土防空を担っていたことから、米国本土と同様にADIZを日本周辺でも設定。(韓国、台湾のADIZも同様の経緯)
- 日本におけるADIZの根拠として1969年に「防空識別圏における飛行要領に関する訓令(昭和44年防衛庁訓令第36号)を制定。行政規則であり、防衛省職員以外に拘束力は及ばない。
- 国交省が発行する航空路誌(AIP)(国際民間航空条約第15付属書に基づいて作成される文書で、日本における民間航空の運航に必要な恒久的情報を収録した出版物)においてADIZに関わる飛行計画の提出や無線通報の実施を要請しているが、法的義務なし。

防空識別圏 (ADIZ) と飛行情報区 (FIR)

ATTACHMENT-1

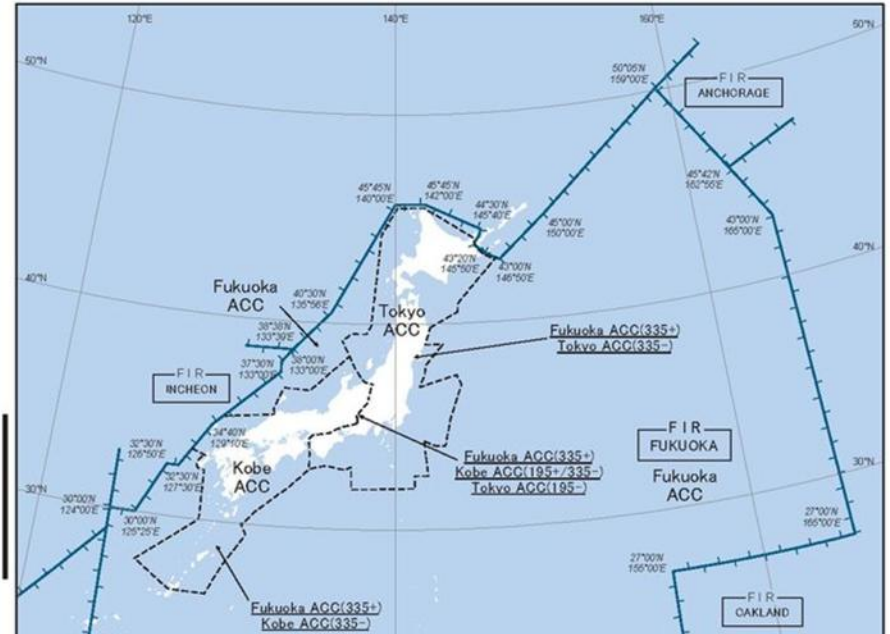
日本および周辺国・地域の防空識別圏 (ADIZ)



※「東シナ海防空識別区」は、この空域を飛行する航空機に対し、中国国防部の定める規則を強制し、これに従わない場合は中国軍による「防衛的緊急措置」とをとっていることなど、国際法上の一般原則である公海上空における飛行の自由の原則を不当に侵害する形で、中国が独自の主張に基づき設定

出典：令和4年版防衛白書を基にYahoo! JAPAN制作

注：1999年能登半島沖不審船事案

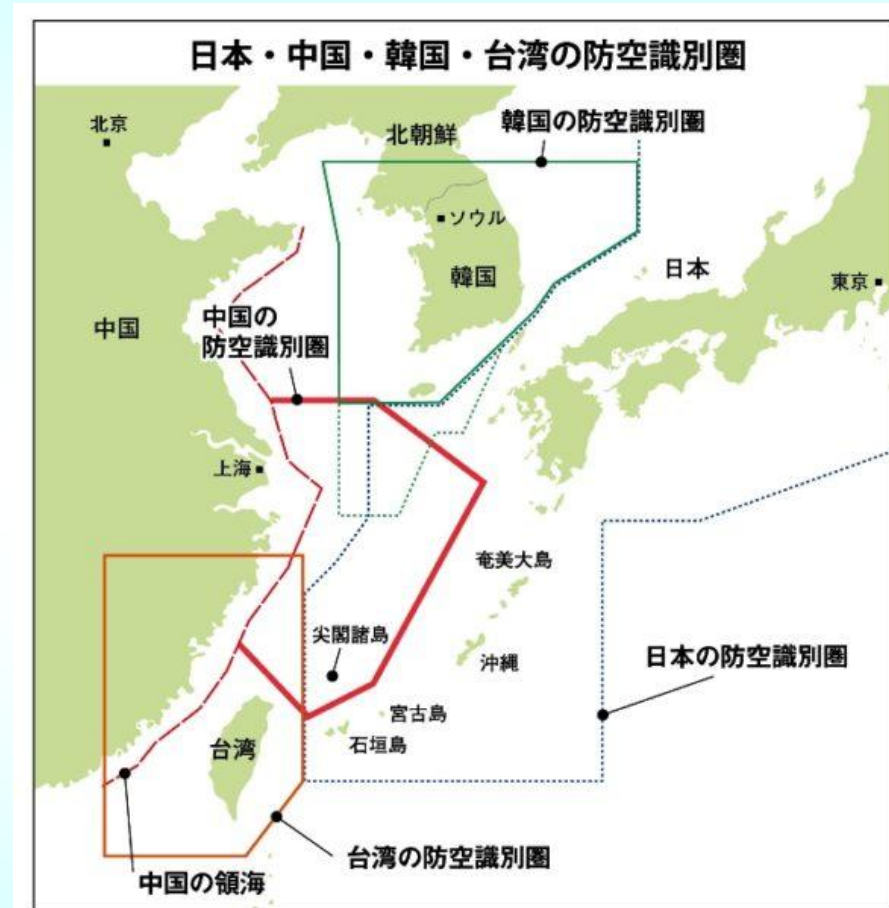


https://airmanship.jp/images/area_acc.jpg

飛行情報区 (FIR) とは、領空と公海上空 (公空) を含んだ空域で、世界の空の航空交通の円滑で安全な流れを促進できるように、航空機の航行に必要な各種の情報の提供と搜索救難活動が行われる空域である。いわゆる領空とは別のもので、そのため FIR の名称には国名でなく、その空域での航空交通管理センターが置かれている地名の名称が付けられる。ICAO 非加盟国の領空と公海の一部上空を除き、世界の空域全体に FIR が指定されている。

東シナ海防空識別区の設定

- 2013年11月23日、中国政府は日本のADIZと重なる形でかつ内側に沖縄県・尖閣諸島上空が含まれる東シナ海防空識別区 (通称: China ADIZ: CADIZ) を設定すると発表
- 同時に出された「航空機識別規則公告」では、領空に向かうか否かを問わずCADIZ内を飛行する航空機に対し、飛行計画を中国当局に通報することや、中国国防省の指示に従うことを義務付け、従わない場合は軍が「防御的緊急措置」をとると明記。
- 翌24日、外務省は東シナ海における現状を一方的に変更し、事態をエスカレートさせ、現場海空域において不測の事態を招きかねない非常に危険なものとして強い懸念を表明。また防御的緊急措置について、国際法上の一般原則である公海上における飛行の自由の原則を不当に侵害するものであり、国際航空秩序に対して重大な影響を及ぼすものと懸念を表明。*防御的緊急措置については翌年、取り下げられている。



<https://www.chosyu-journal.jp/wp-content/uploads/2022/10/ebb15abd549bf35b313fadeb630a755e-597x600.jpg>

諸外国のスクランブル対応の状況等

韓国空軍(ROKAF)のアラート等

- 韓国のADIZは戦後GHQが設定したものを基本的に踏襲したため、日本のADIZと接していた。(竹島はKADIZ内)
- しかし、2013年12月8日、中国と管轄権を争う離於島を含み日本・中国のADIZと重なる形でADIZを拡大することを公表
- 韓国空軍(ROKAF)の戦闘機が実施するアラート待機と対処には、**領空保全に関わるものと休戦協定に関わるものの二通り**があるが、細部は不明。
- 空自と韓国空軍の防空管制組織間で航空情報を共有できる**ホットラインを保有。**対馬海峡を飛行する中露の航空機に対する対処等の調整も実施。

新たな韓国防空識別圏(KADIZ)



NATOのAir Policing

- ・目的: 空域の完全性と安全の確保。
- ・ヨーロッパおよびその周辺のすべての航空交通を継続的に監視し、あらゆる異常な活動や敵対的な航空活動を検知し対応
- ・航空管制との通信が途絶えた民間航空機の遭難時の支援も実施。
- ・指揮系統: 欧州連合最高司令官(SACEUR)の指揮下でNATO統合防空ミサイル防衛システム(NATINAMDS)を用いて実施。NATO統合航空・ミサイル防衛(IAMD)の不可欠な一部
- ・連合空軍司令部(AIRCOM)ドイツ・ラムシュタインに本部、3つの統合航空作戦センター(CAOC)によって24時間体制でAir Policing任務を監督
- ・スペインのトレホン はアルプス以南の空域を担当、ドイツのウーデム はアルプス北側の空域を担当、ノルウェーのポドー は、北欧地域と北極圏の空域をカバー
- ・地域支援AP: バルト海AP、NATO東側AP、東アドリア海・西バルカンAP、アイスランドAP、ベネルクスAP



北アメリカ航空宇宙防衛軍(NORAD)が実施する Aerospace Control Alert(ACA)

North American Air Defense Identification Zones



・NORADはアメリカ合衆国とカナダが北米大陸の防衛のため、航空や宇宙における危険の早期発見、対処を目的として運用される連合組織。24時間体制で人工衛星の状況の観測、地球上の核ミサイル・弾道ミサイルの発射警戒、戦略爆撃機の動向監視などを実施

・ACA任務は米加両国の領空主権の維持と防空のための作戦任務であり、全米16か所の基地に戦闘機、人員等を24時間待機態勢において実施される。通常、州空軍の戦闘機、人員等が待機を行う。

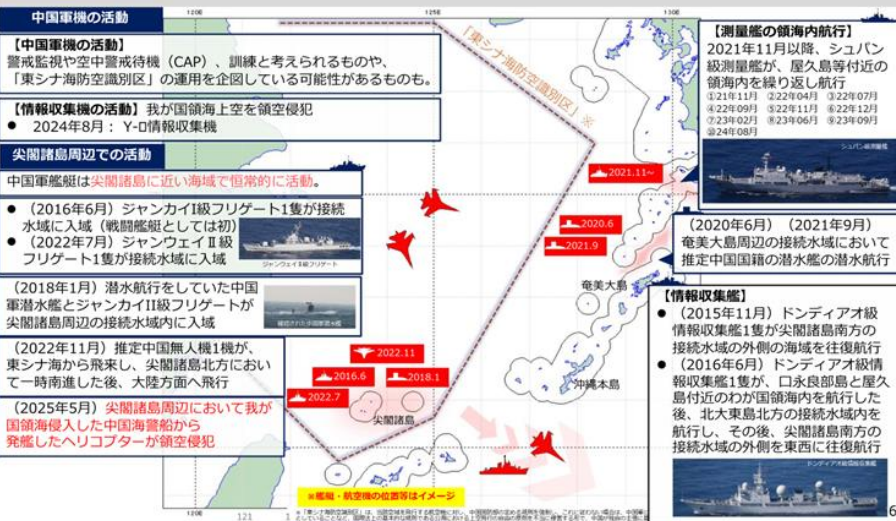
・9.11以降、航空テロへの対処も実施

対領空侵犯措置時における武器の使用について

- 自衛隊法(昭和二十九年法律第百六十五号)第八十四条に基づく領空侵犯に対する措置は、国際法上認められる範囲内で行われるものであり、有人かつ軍用の航空機に対する武器の使用は、同条に規定する「必要な措置」として、正当防衛又は緊急避難の要件に該当する場合に許される。また、このような「必要な措置」の範囲内で行われる限り、撃墜することも許されると考えている。(R6年松原仁議員の質問主意書に対する答弁)
- 領空侵犯する無人機や気球等への対応に関しては、武器の使用を行っても直接人に危害が及ばないことから、そのまま放置すれば他の航空機の安全な飛行を阻害する可能性がある等、我が国領域内の人の生命及び財産、また航空路を飛行する航空機の安全の確保といった保護すべき法益のため、必要と認める場合は正当防衛又は緊急避難に該当しなくても武器の使用が許されるとし、武器使用に関わる解釈が明確化された。(2023年2月)

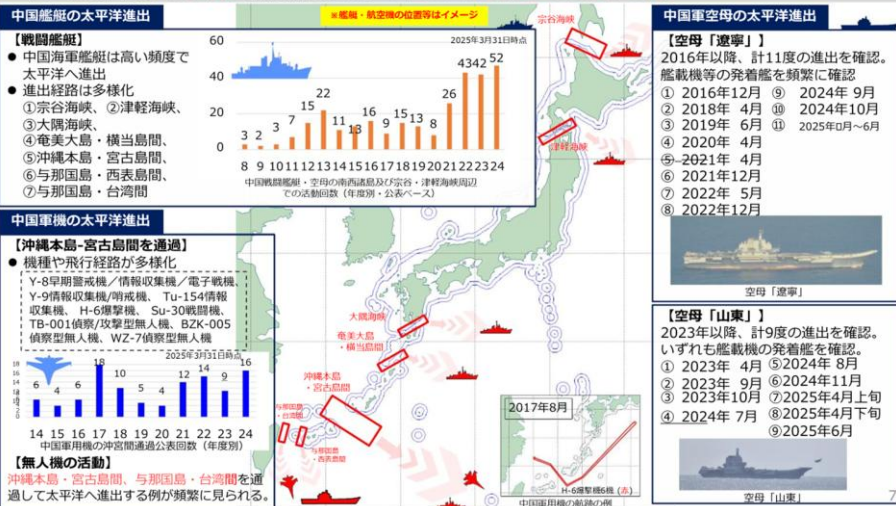
東シナ海での活動

- 東シナ海においては、中国軍艦艇が継続的かつ活発に活動。尖閣諸島に近い海域で恒常的に活動。
- 中国軍機も、尖閣諸島や沖縄本島をはじめとする、南西諸島により近接した空域で活発に活動。



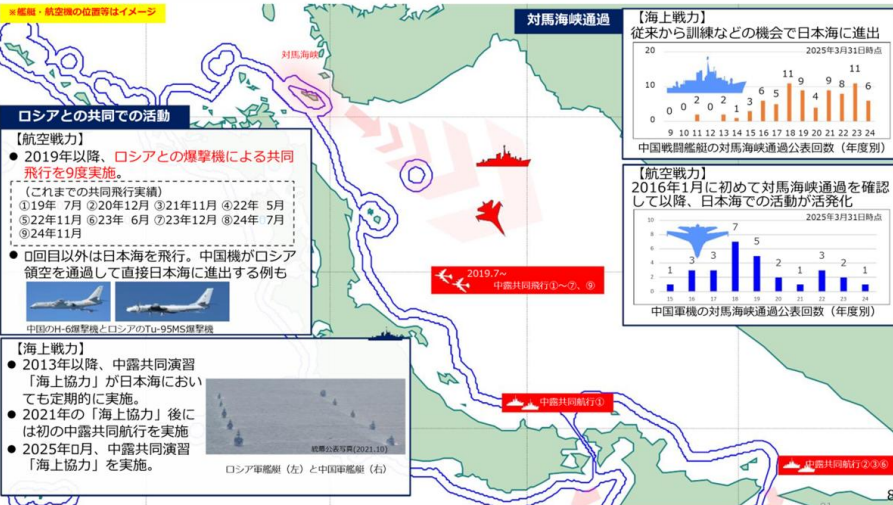
太平洋への進出

- わが国近海を航行しての中国海軍の戦艦艦艇による太平洋への進出は、高い頻度で継続。
- 航空戦力については、2017年以降、沖縄本島・宮古島間の空域の通過を伴う太平洋進出が一層活発。同空域を通過する軍用機(無人機を含む)の種類や飛行形態も多様化の傾向。



日本海での活動

- 日本海においては、海上戦力・航空戦力の活動が活発化。
- 海上戦力は、従来から訓練などの機会で日本海に進出。情報収集艦による対馬海峡の通過も頻りに確認。
- 航空戦力は、2016年1月に中国軍機の対馬海峡通過を初めて確認して以降、日本海での活動が活発化。



中国軍艦艇の動向

- 中国軍は現在、2隻の空母(「遼寧」「山東」)を運用し、3隻目の空母「福建」は海上試験中。
- 空母の太平洋進出や太平洋上における艦載戦闘機の発着艦が頻りに確認されている。



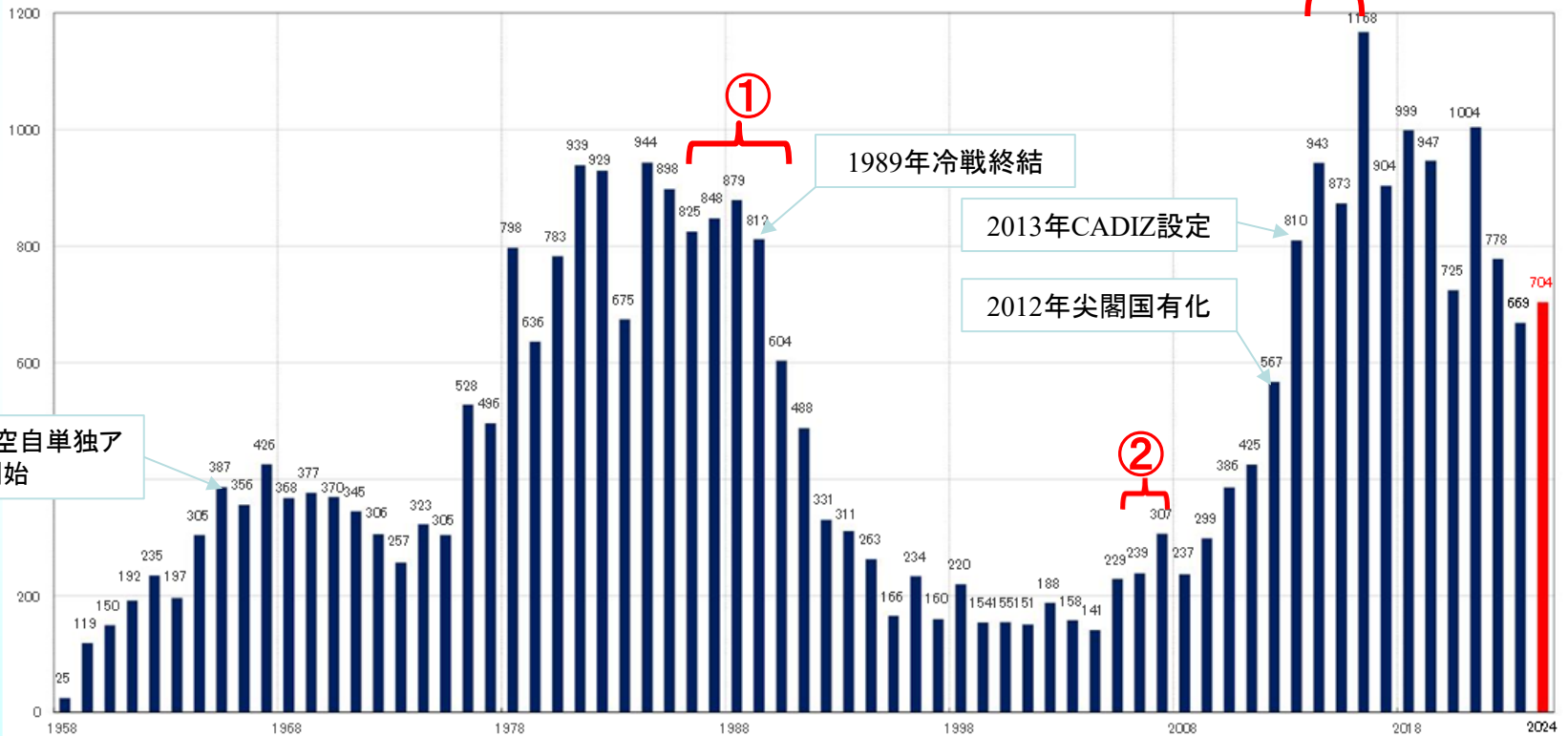
令和6年度緊急発進状況

年度緊急発進回数の推移

1

2025年3月31日現在

回数



1965年空自単独アラート開始

①

1989年冷戦終結

2013年CADIZ設定

2012年尖閣国有化

②

③

我が国を取り巻く安全保障環境と脅威の変化に対応して推移

年度

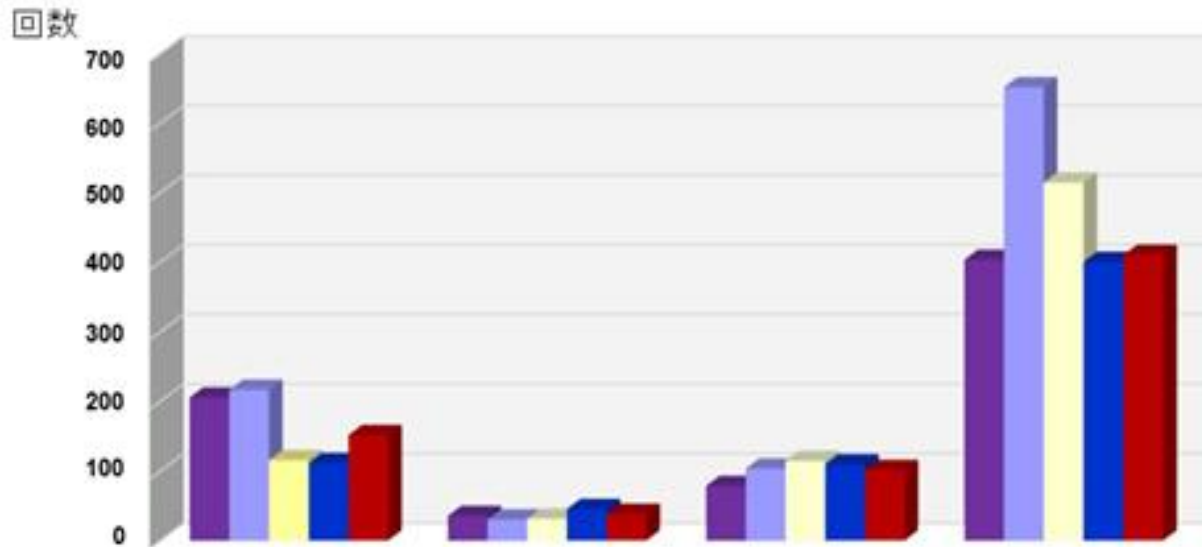
国・地域別緊急発進回数推移(過去5年間)

2025年3月31日現在

国・地域 年度	ロシア	中国	台湾	北朝鮮	その他	合計
2020年度	258	458	0	0	9	725
2021年度	266	722	3	0	13	1004
2022年度	150	575	0	0	53	778
2023年度	174	479	1	2	13	669
2024年度	237	464	0	0	3	704

※ 国・地域は、推定を含む。

中国機に対するスクランブル回数は
年間回数約69%を占める



	北空	中空	西空	南西空	合計
2020年度	206	36	79	404	725
2021年度	217	31	104	652	1004
2022年度	116	32	115	515	778
2023年度	112	46	110	401	669
2024年度	152	39	102	411	704

南西空が年間スクランブル回数の
約61%を実施



3 航空自衛隊の編成(航空総隊)

北部航空方面隊

戦闘機部隊: 12個飛行隊
戦闘機数: 約260機



F-35



F-15



F-2

航空警戒管制部隊: 28個レーダーサイト

1個警戒航空団(3個飛行隊)

● : SOC/DC

● : 警戒管制レーダー

● : 警戒管制レーダー(BMD対応)

● : 移動警戒隊(TPS-102)

● : AWACS

● : E-2C

● : E-2D

偵察航空部隊: 1個飛行隊

● : RQ-4B

中部航空方面隊

西部航空方面隊

南西航空方面隊

千歳
(北海道)

三沢
(青森)

小松
(石川)

百里
(茨城)

春日
(福岡)

築城
(福岡)

浜松
(静岡)

新田原
(宮崎)

那覇
(沖縄)

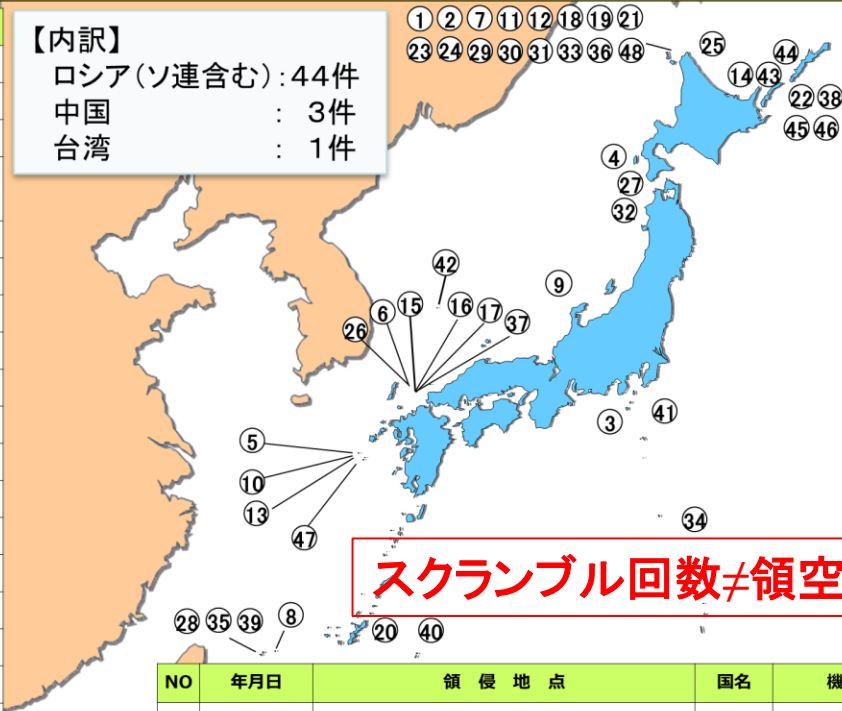
F-35B

領空侵犯の公表事例(計48件)

NO	年月日	領 侵 地 点	国名	機種×機数
1	1967. 8.19	北海道礼文島上空	ソ連	不明×1
2	1974. 2. 7	北海道礼文島上空	ソ連	不明×1
3	1975. 9.24	伊豆諸島の式根島及び神津島間の領海上空	ソ連	Tu-95×2
4	1976. 9. 6	北海道茂津田岬の沖合上空～函館空港までの間 (MIG-25事件)	ソ連	Mig-25×1
5	1977. 9. 7	五島列島西方の白瀬島北西領海上空	ソ連	Tu-95×2
6	1978. 3.17	対馬東方領海上空	ソ連	Tu-95×1
7	1978.12. 5	北海道礼文島北方領海上空	ソ連	不明×1
8	1979.11.15	尖閣諸島大正島南方領海上空	ソ連	Tu-95×2
9	1980. 6.29	能登半島北方舳倉島北東領海上空	ソ連	IL-38×2
10	1980. 8.18	五島列島南東領海上空	ソ連	IL-62×1
11	1981. 6. 6	北海道礼文島北方領海上空	ソ連	IL-14×1
12	1981. 7.24	北海道礼文島北方領海上空	ソ連	不明×1
13	1982. 4. 3	長崎県男女群島鳥島西方領海上空	ソ連	IL-62×1
14	1983.10.15	北海道知床岬北東領海上空	ソ連	不明×2
15	1983.11.15	福岡県沖ノ島北西領海上空	ソ連	Tu-16/95×各1
16	1984.11.12	福岡県沖ノ島北西領海上空	ソ連	Tu-16×1
17	1984.11.23	福岡県沖ノ島北西領海上空	ソ連	Tu-95/142×各1
18	1986. 2. 6	北海道礼文島北方領海上空	ソ連	不明×1
19	1987. 8.27	北海道礼文島西方領海上空	ソ連	不明×1
20	1987.12. 9	沖縄本島上空及び徳之島・沖永良部島間の領海上空	ソ連	Tu-16×1
21	1989. 4.21	北海道礼文島北方領海上空	ソ連	不明×1
22	1991. 7. 6	北海道根室半島南方領海上空	ソ連	An-30×1
23	1991. 8.15	北海道礼文島北方領海上空	ソ連	Tu-95×2
24	1992. 4.10	北海道礼文島上空及び稚内北西領海上空	ロシア	An-12×1
25	1992. 5. 7	北海道枝幸沖領海上空	ロシア	不明×1
26	1992. 7.28	長崎県対馬東方領海上空	ロシア	Tu-154×1
27	1993. 8.31	青森県久六島西方領海上空	ロシア	IL-20×1
28	1994. 3.25	尖閣諸島魚釣島領海上空及び久場島領海上空	台湾	B-350×1
29	1995. 3.23	北海道礼文島領海上空	ロシア	Mig-31×1
30	2001. 2.14	北海道礼文島領海上空	ロシア	Tu-22×2、不明×2
31	2001. 4.11	北海道礼文島北方領海上空	ロシア	不明×1
32		青森県久六島西方領海上空	ロシア	Su-24×1
33	2006. 1.25	北海道礼文島北方領海上空	ロシア	An-72×1

【内訳】

ロシア(ソ連含む) : 44件
 中国 : 3件
 台湾 : 1件



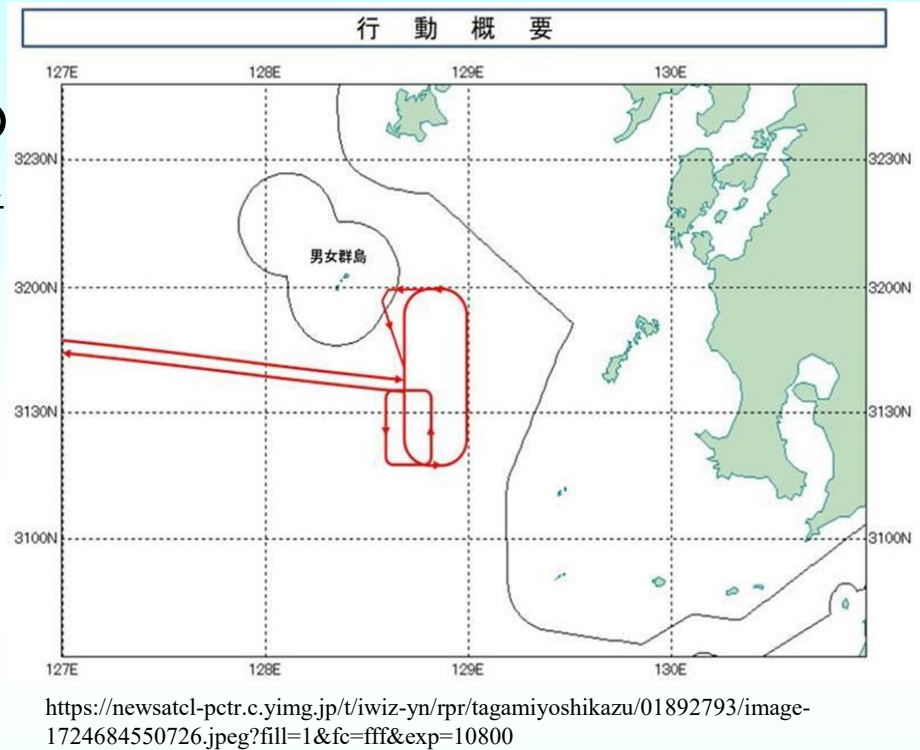
スクランブル回数≠領空侵犯

NO	年月日	領 侵 地 点	国名	機種×機数
34	2008. 2. 9	伊豆諸島南部の婦孺岩領海上空	ロシア	Tu-95×1
35	2012.12.13	尖閣諸島魚釣島南部の領海上空	中国	Y-12×1
36	2013. 2. 7	北海道利尻島南西領海上空	ロシア	Su-27×2
37	2013. 8.22	福岡県沖ノ島北西領海上空	ロシア	Tu-95×2
38	2015. 9.15	北海道根室半島沖領海上空	推定ロシア	不明×1
39	2017. 5.18	尖閣諸島魚釣島西部の領海上空	中国	小型無人機×1
40	2019. 6.20	沖縄県南大東島北西部領海上空	ロシア	Tu-95×2
41		伊豆諸島の八丈島北西部領海上空	ロシア	Tu-95×1
42	2019. 7.23	島根県竹島の領海上空	ロシア	A-50×1
43	2020.10. 2	北海道知床岬領海上空	ロシア	Mi-8×1
44	2021. 9.12	北海道知床岬領海上空	ロシア	An-26×1
45	2022. 3. 2	北海道根室半島沖領海上空	ロシア	ヘリコプター×1
46	2023.10.31	北海道根室半島沖領海上空	推定ロシア	ヘリコプター×1
47	2024. 8.26	長崎県男女群島領海上空	中国	Y-9×1
48	2024. 9.23	北海道礼文島北方領海上空	ロシア	IL-38×1

最近の特異な事案等

中国軍機による領空侵犯事案(2024.8.26)

- 中国軍のY-9情報収集機が男女群島の南東の日本領空を侵犯。中国軍機による初の領空侵犯事案
- 空自はF-15、F-2をスクランブル発進させ、無線による警告等を実施しつつ行動を監視
- 中国による領空侵犯事案は、以下の3件を含めて**計4件**
 - ①2012年の中国海警局Y-12による尖閣諸島沖の領空侵犯
 - ②2017年の推定無人機(ドローン)による尖閣諸島沖の領空侵犯
 - ③2025年5月、領海内に侵入した海警局公船から発艦したヘリによる領空侵犯



ロシア軍機による領空侵犯(2024.9.23)

- ロシア軍哨戒機IL-38が稚内沖の日本領空を3度にわたって侵犯
- 空自のF-15、F-35が緊急発進し、無線で警告を実施した後、初めて「フレア」による警告を実施
- IL-38の爆弾倉扉が開いていたことから対潜水艦作戦の訓練等を行っていた可能性

ロシア軍機の飛行経路

※防衛省の発表による



3度の領空侵犯

- 午後3時42分～43分頃
- 午後3時31分頃
- 午後1時3～4分頃

<https://www.yomiuri.co.jp/media/2024/09/20240923-OYT1I50085-1.jpg?type=large>



<https://milirepo.jp/wp/wp-content/uploads/2024/09/F-15E-flare.jpg>



IL-38(哨戒機)

<https://cdn.mainichi.jp/vol1/2024/09/23/20240923k0000m040229000p/9.jpg?1>

中国艦載機(J-15)によるレーダー照射事案(R7.12.6)

- 沖縄本島と宮古島の間を抜けて西太平洋で活動していた中国軍の空母「遼寧」から発信した艦載機J-15がスクランブル発進し警戒・監視任務を行っていたF-15に対し二度にわたりレーダーを照射。2回目は約30分間に渡る断続的な照射を実施。
- 中国政府は①訓練の事前通報を行っていたこと、②空自側が訓練区域に近づいてきたこと、③空自側も照射していたこと等を理由として反論するも何れも根拠なし
 - ①訓練を行う時間や場所(緯度経度)を示す航空情報(NOTAM)、船舶に対する航行警報の事前発出無し
 - ②上記から判断困難+通常の運用要領からは考えにくい
 - ③基本的運用要領からあり得ない(「事実はない」外務省X)



- --- : 中国空母「遼寧」の動き
- --- : 中国空母「遼寧」の動き (既公表)

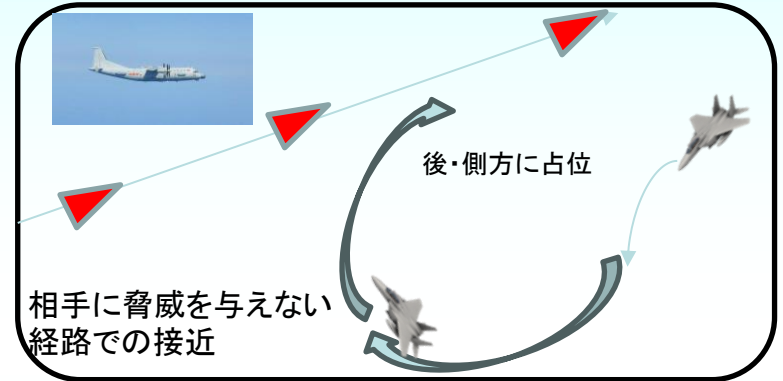
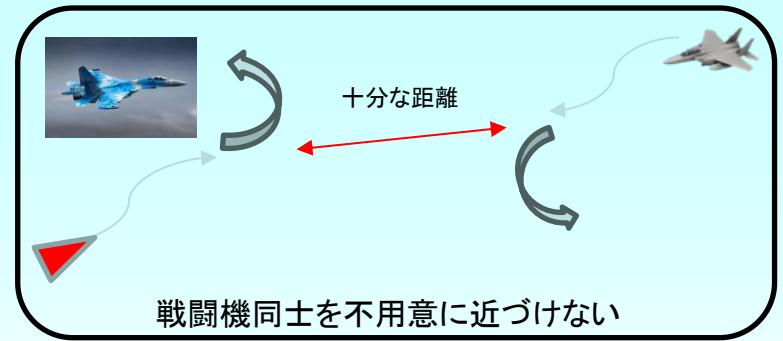
冷戦期(昭和の時代)と現在(令和の時代)の違い

○冷戦期のソ連の航空活動

- 冷戦構造下で主正面は欧州
- 不要な摩擦を避ける暗黙の了解「阿吽の呼吸」
- プロフェッショナルな行動(高い技量レベル)

○近年の中国の航空活動

- 中国の核心的利益が複数存在する正面エリア
- 急速な戦力増強に伴う自信
- **現状変更の意図**
- アン・プロフェッショナルな行動(日米情報収集機等に対する危険な飛行等)
- 日中ホットラインはあるものの機能せず



課題①: 領有権を主張するための既成事実化を目的とした尖閣周辺における航空活動(艦載ヘリ、無人機、戦闘機など)への対処

○ 領有権を主張するための既成事実化を目的とした飛行に対する**冷静かつ毅然とした対応の継続**

- 尖閣諸島周辺に所在する公船・海軍艦艇等から離発着する艦載ヘリへの対応
- 尖閣諸島の領空に接近する戦闘機等への対応

○ 海保、海自艦艇などと連携した統合的運用による対応要領の検討

★意図的に領空侵犯を繰り返す有人機に対する対応要領の検討



<https://www.sankei.com/resizer/v2/TTBPSKP3DNL7TMLFRB3PJS5XGI.jpg?auth=4d88ccaf8522687b6159a82582533f9d3cdf92529a171f48a10b8b3aeac8bcd9&quality=40&focal=1242%2C265&width=1200>

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/senkaku/images/top/img02.gif>

「防衛力の抜本的強化に関する有識者会議」 報告書(2025.09.19)

○防衛力抜本的強化の7本柱の推進と戦略装備の導入による抑止力・対処力の一層の強化

- 無人アセットの本格的導入
- VLS(垂直発射装置)搭載潜水艦
- 太平洋側における防衛態勢構築にかかる防衛装備

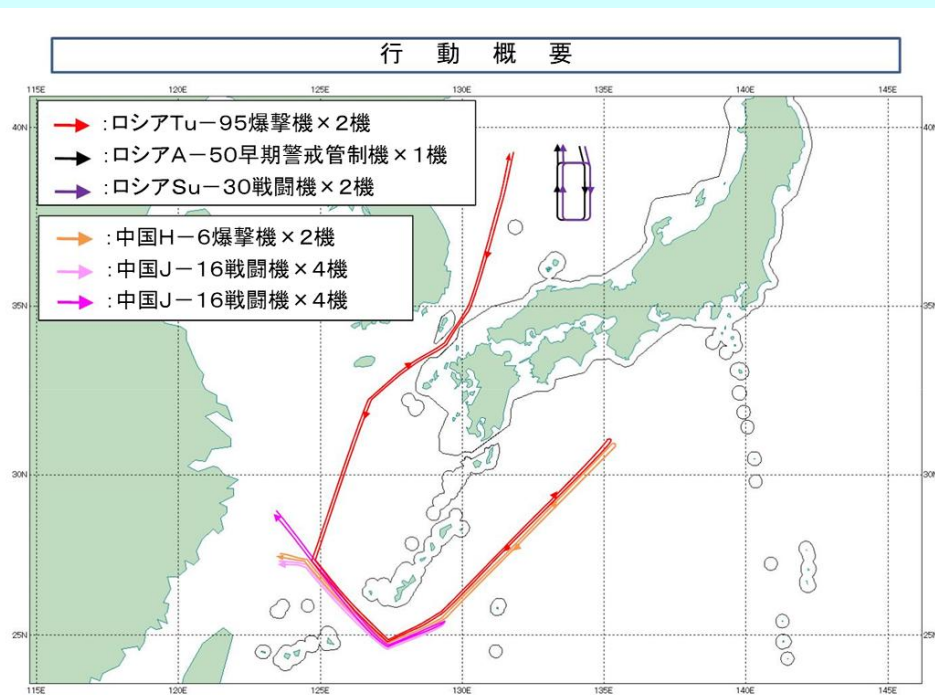
○ 上記以外にも抑止力・対処力を強化するために情勢に応じた必要な施策を真摯に検討し、速やかに実行に移していくべきである。例えば本年5月3日、中国海警のヘリコプターによる尖閣諸島領空への領空侵犯が発生した。無人機への対応のためのスクランブルと同様、戦闘機を基地から緊急発進させて対応するのは困難な事案が増えつつあり、これが常態化すれば我が国の支配が相対化する恐れがある。我が国も無人機を常時在空させるなどの方策を検討するべきである。

課題②: 無人機を含め急増する我が国への接近飛行への適切な対処

○ 我が国を取り巻く**安全保障環境の変化**や**対象となる航空活動の態様と意図の変化**に応じた**選択と集中が必要**

○ **相手の意図や飛行目的等に応じた合理的かつ柔軟な対応が必要**

- 情報に基づくレーダー等による行動の監視
- 必要な場合のみ目視識別・写真撮影
- 海保、海自艦艇等と連携した統合運用による対応



https://www.mod.go.jp/js/pdf/2025/p20251209_05.pdf



課題③: 防空体制が脆弱な太平洋における航空活動等への対応

- 警戒監視の空白域の解消や領空保全ための **ADIZの再設定**等の検討
- 空中給油機、早期警戒機、海自艦(F-35B搭載)等と連携した **能動・主体的な対応要領**の検討
- 硫黄島、南鳥島等の活用等、**太平洋域の防空体制の強化**について検討する必要



<https://www.mod.go.jp/asdf/img/equipment/KC-767/photo09.jpg>



<https://www.mod.go.jp/msdf/operation/training/src/2021/img/72/50.jpg>



硫黄島
R/W 2650m



https://astropics.bookbright.co.jp/wp-content/uploads/2023/12/Volcanic_island_on_the_rise-1280.jpg

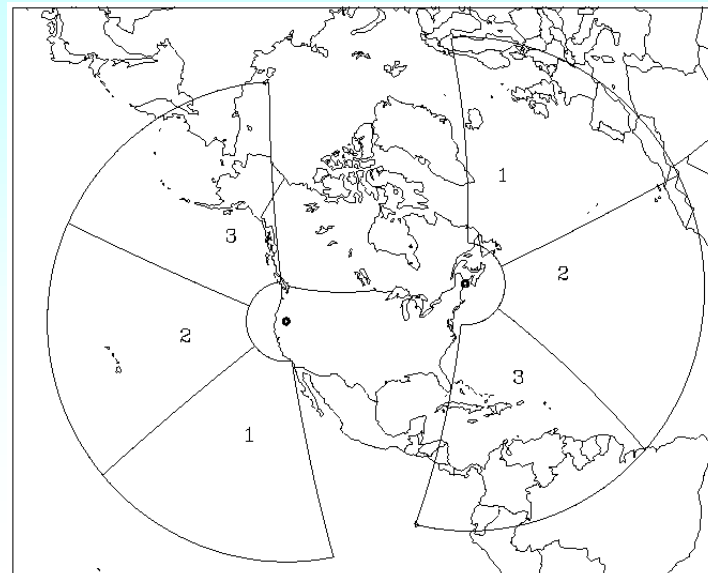


南鳥島
R/W 1370m

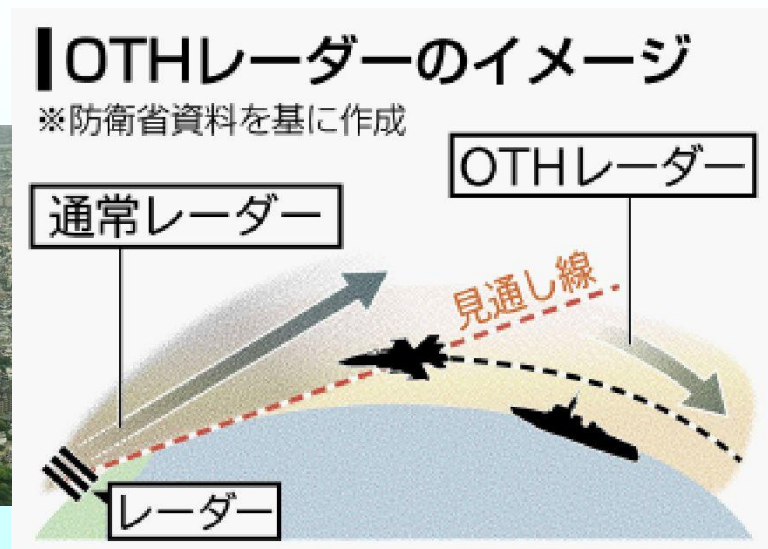
https://www.vill.ogasawara.tokyo.jp/wp-content/uploads/sites/2/2014/10/index_02.jpg

課題④: 脅威の変化に応じた防空体制の強化

- 平時の対領空侵犯措置は防空作戦機能をベースにしたもの
 - 経空脅威の長射程化(巡航ミサイルの長射程化)+ステルス化へ対応できるよう防空体制を強化すること
 - ⇒より適切な対領空侵犯措置が可能
 - OTHレーダー又は衛星コンステレーション等による航空情報収集体制の検討の加速化
- ⇔整備されるまでの間は統合的運用による対応 + 既存機能(AWACS/E-2CD等)の強化等で対処



https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/4/49/OTH-B_coverage.gif

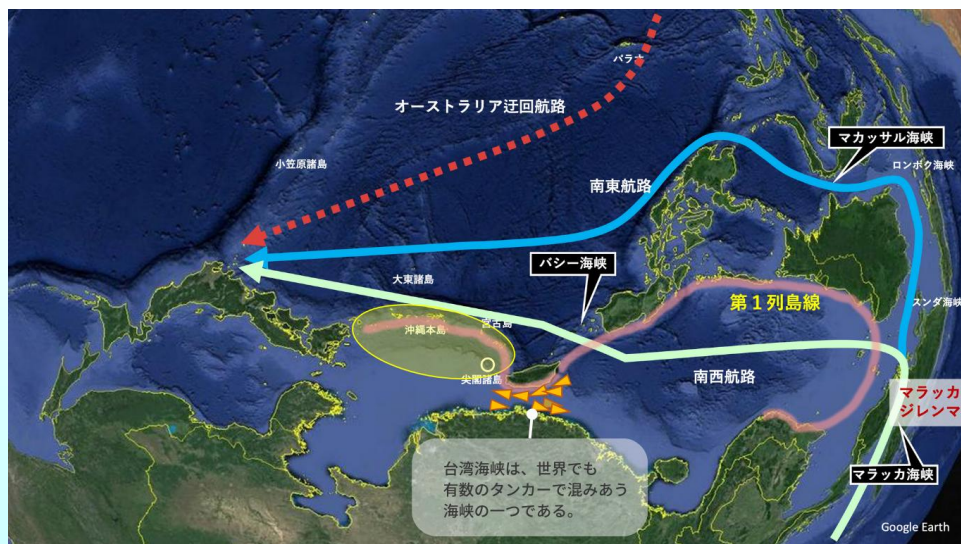
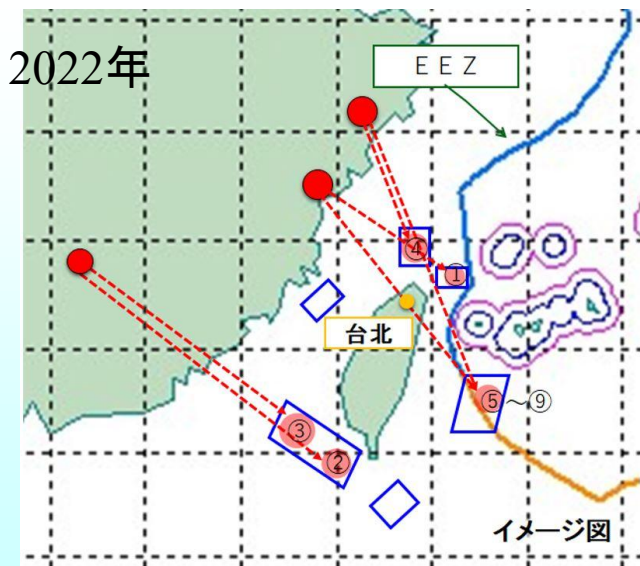
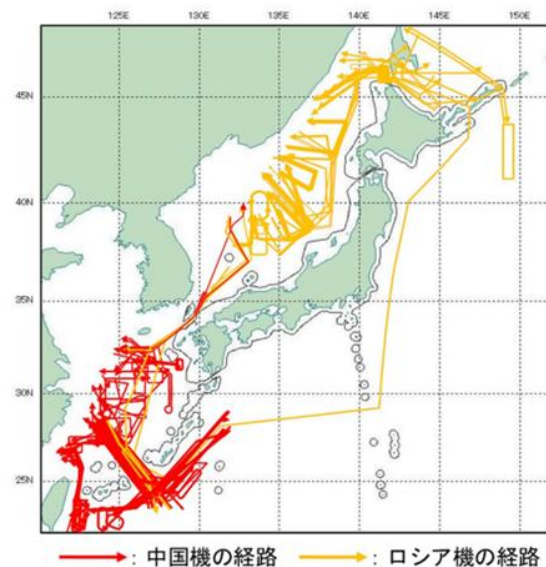


課題⑤: 台湾等との航空情報共有枠組みの確立

- 台湾本島と与那国島を含む先島諸島の距離的近さ+航空戦力の特徴(速度)
- 台湾を包囲する中国人民解放軍の軍事演習の常態化
- 台湾周辺のADIZ内に進入する中国軍航空活動の活発化

⇒領空保全の観点に加えて事態がエスカレーションする場合に備えた航空情報共有枠組みが必要

緊急発進の対象となったロシア機及び中国機の飛行パターン例



昨年5月末から6月初にかけて中国海軍の空母「遼寧」(山東省が所有)が九州・沖縄・台湾・フィリピンを巡る太平洋で活動した。中国海軍が韓国海軍と連携して初の遠征活動(第1列島線)の小笠原諸島・アム・ハマ・ニューギニア(通称「南太平洋」)の排他的経済水域に進入している。

対中「民主主義の防衛」
昨年12月には中露艦隊が編隊を組んで東シナ海の宮古海峡(沖縄と宮古島の間)を通じて太平洋上で共同演習を実施した。「この演習は東京を襲撃するものか」を進言して、伊半島で反発して演習を中止。反転して海軍は中露艦隊が南太平洋の演習に反対するが東京に「介入」しない。あつたのは「民主主義の防衛」である。

第1列島線は中国で「太平洋」に広がる。日本は「太平洋」に進出している。中国海軍の太平洋進出は「民主主義の防衛」である。昨年12月に中国海軍は「民主主義の防衛」の演習を実施した。これは「民主主義の防衛」の演習である。

トランプ米政権が「民主主義の防衛」を掲げて中国海軍の太平洋進出に反対している。これは「民主主義の防衛」の演習である。昨年12月に中国海軍は「民主主義の防衛」の演習を実施した。これは「民主主義の防衛」の演習である。

トランプ米政権は「民主主義の防衛」を掲げて中国海軍の太平洋進出に反対している。これは「民主主義の防衛」の演習である。昨年12月に中国海軍は「民主主義の防衛」の演習を実施した。これは「民主主義の防衛」の演習である。

トランプ新戦略が問う日本の覚悟

正論



元陸上幕僚長 岩田 清文

トランプ米政権は「民主主義の防衛」を掲げて中国海軍の太平洋進出に反対している。これは「民主主義の防衛」の演習である。昨年12月に中国海軍は「民主主義の防衛」の演習を実施した。これは「民主主義の防衛」の演習である。

トランプ米政権は「民主主義の防衛」を掲げて中国海軍の太平洋進出に反対している。これは「民主主義の防衛」の演習である。昨年12月に中国海軍は「民主主義の防衛」の演習を実施した。これは「民主主義の防衛」の演習である。

太平洋側の防空能力強化を急げ

正論



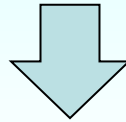
麗澤大学特別教授 元空将 織田 邦男

トランプ米政権は「民主主義の防衛」を掲げて中国海軍の太平洋進出に反対している。これは「民主主義の防衛」の演習である。昨年12月に中国海軍は「民主主義の防衛」の演習を実施した。これは「民主主義の防衛」の演習である。

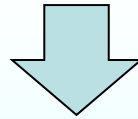
トランプ米政権は「民主主義の防衛」を掲げて中国海軍の太平洋進出に反対している。これは「民主主義の防衛」の演習である。昨年12月に中国海軍は「民主主義の防衛」の演習を実施した。これは「民主主義の防衛」の演習である。

まとめ

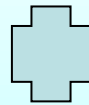
対領空侵犯措置≒防空能力を基盤とし、平時において我が国の
主権(領空)を守る行動任務



- ・安全保障環境と米戦略の変化
- ・脅威の変化(Mx長射程化、ステルス技術、空母搭載航空戦力の顕在化)



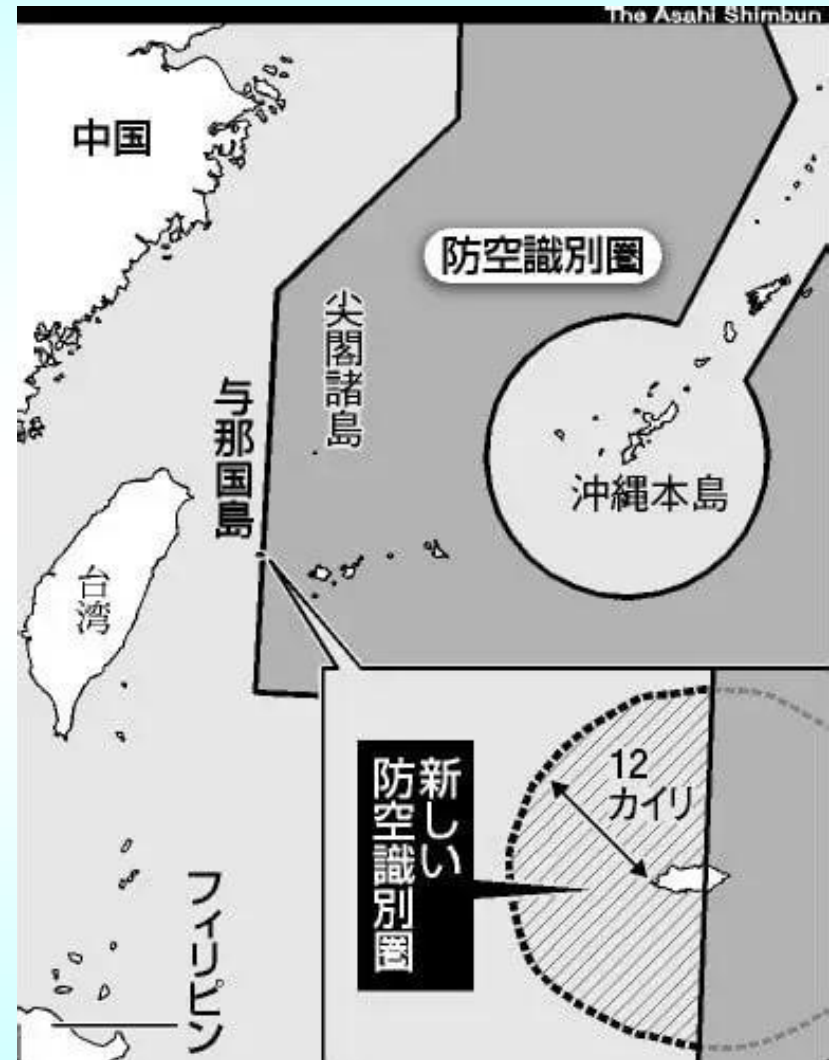
戦略的要請に応じ、新たな脅威に対応できる強靱な防空体制の確立



脅威に応じた主体的、能動的な平時の作戦行動への移行

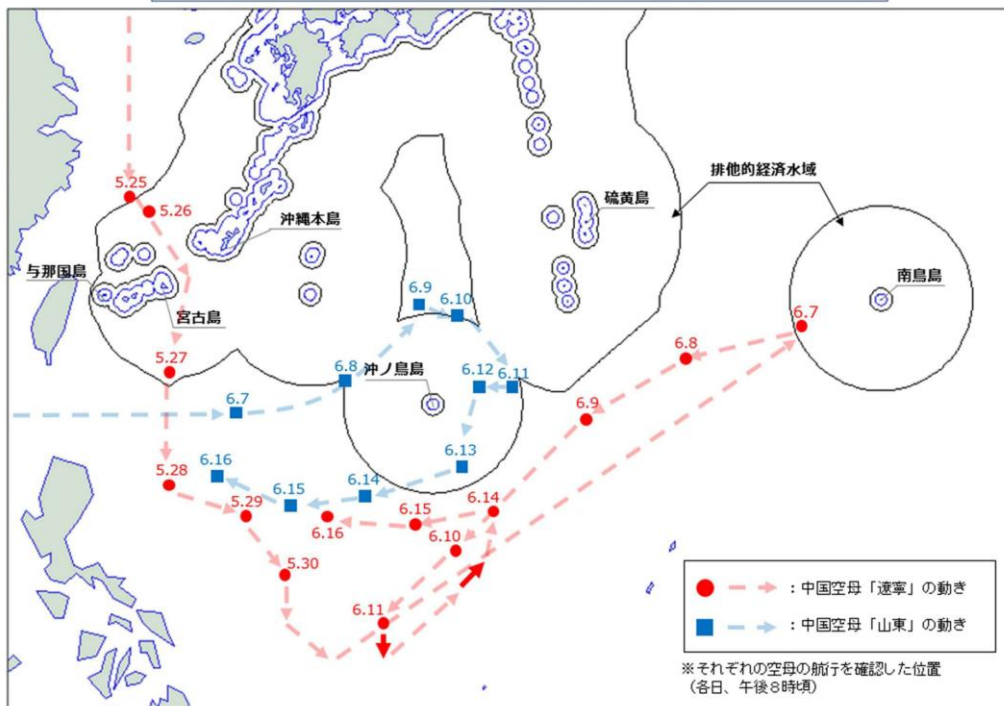
与那国島におけるADIZ問題

- 連合軍占領下に米空軍が設定したADIZをそのまま引き継いだため、台湾ADIZとの境界である東経123度線が与那国島の上空を通る形となっており地元では長年、防衛上の懸案と考えられていた。
- この件に起因する問題は発生してこなかったが、2006年(平成18年)8月、台湾が当初設定した射撃訓練の区域設定に、与那国島の西半分が含まれていたことが判明した。その境界線が防空識別圏と同じ東経123度であったことから、町長や漁協組合長が県や国の関係省庁に対応を要請した。
- 2010年(平成22年)5月26日、日本国政府は防空識別圏をそれまでの東経123度線から、与那国島の陸地から台湾側洋上へ12海里分西側を半月状に広げる形で設定し直す方針を明らかにし、6月25日付けの防衛省訓令改正により実施された。



西太平洋における空母の活動 (R7.6.8~6.16)

中国空母「遼寧」「山東」の行動概要



<https://j-defense.ikaros.jp/img/jdn/docs/003/353/aa.jpg>

中国海軍空母「遼寧」の艦載戦闘機及び艦載ヘリによる発着艦の実績は
計約290回確認(約32回/1日)。

中国海軍空母「山東」の艦載戦闘機及び艦載ヘリによる発着艦の実績は
計約230回確認(約25回/1日)

中露共同飛行(R7.12.9)



https://imgc.eximg.jp/i=https%253A%252F%252Fs.eximg.jp%252Fexnews%252Ffeed%252FShueishapn%252F6%252FShueishapn_129723%252FShueishapn_129723_4.jpg.ality=70,type=jpg

- 今回の空母「遼寧」の活動域に重なるように中国H-6×2機とロシアのTu-95×2機が12月9日、沖縄～宮古間を抜けて西太平洋上を飛行し、東京から700kmの地点で反転、帰投する飛行も確認

台湾ADIZ進入機の推移（3年間月別）

2020年9月17日～2023年9月16日
: 4,025機

ヘリ・輸送機、無人機

Z-9 ASW, Z-8, WZ-10, KA-28 ASW,
Mi-17, Y-20 AR, BZK-005, BZK-007,
KVD-001, WZ-7, CH-4, TB-001



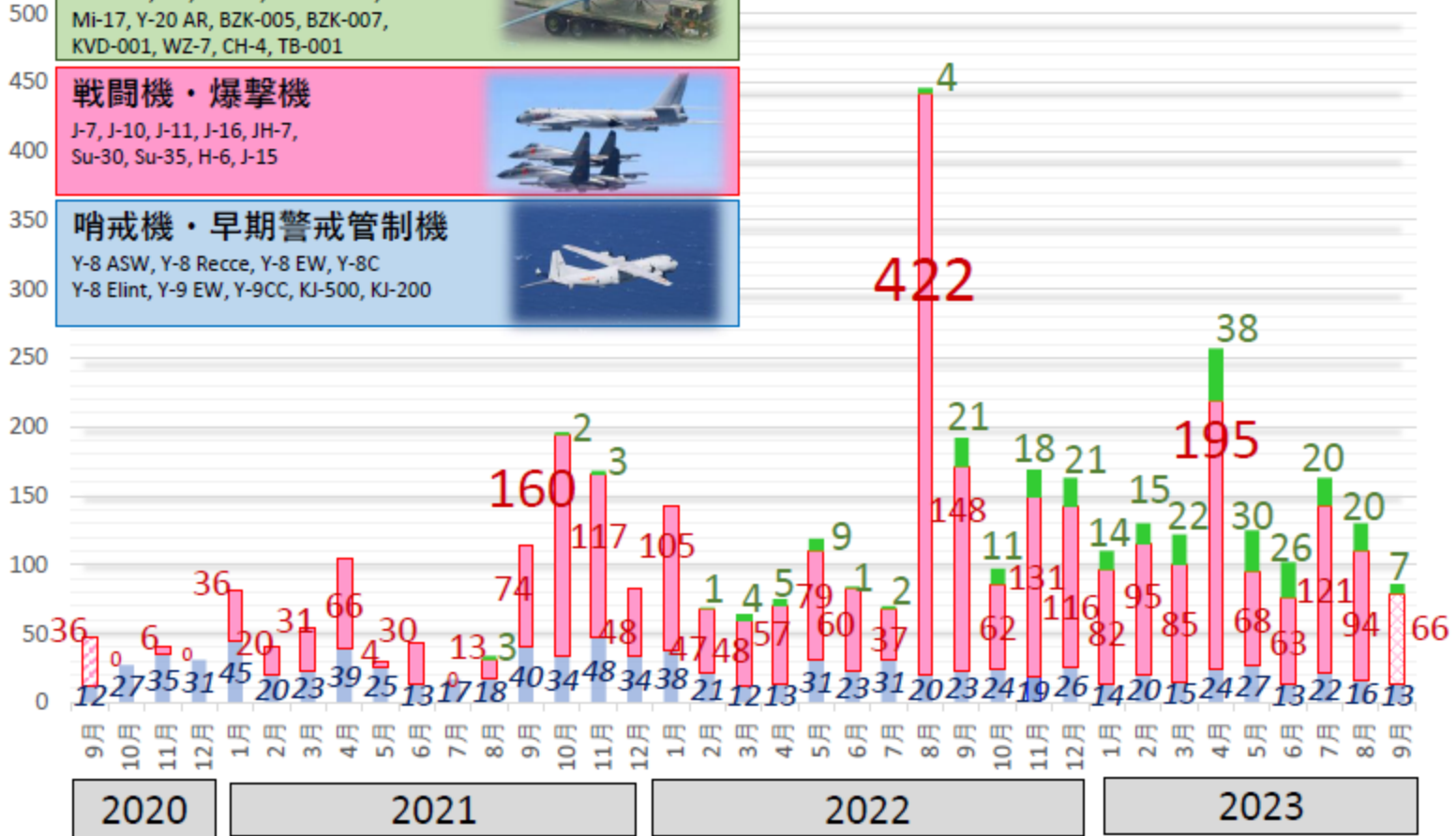
戦闘機・爆撃機

J-7, J-10, J-11, J-16, JH-7,
Su-30, Su-35, H-6, J-15



哨戒機・早期警戒管制機

Y-8 ASW, Y-8 Recce, Y-8 EW, Y-8C
Y-8 Elint, Y-9 EW, Y-9CC, KJ-500, KJ-200



台湾ADIZ進入機の内訳（3年間機種別）

【凡例】機種等；機数；%

2020年9月17日～2023年9月16日
: 4,025機

ヘリ；103；2.6%



輸送機等；14；0.3%



無人機；180；4.5%



Y-8 Elint；44；1.1%

Y-8 ASW；
424；
10.5%

Y-8 Recc；124；3.1%

Y-8 EW；158；3.9%

Y-9 EW；56；1.4%

KJ-500；100；2.5%

Su-35；2；0.0%



H-6；
190；
4.7%

Su-30；413；10.3%

J-16；1217；30.2%

J-10；510；12.7%

J-11；
392；
9.7%

JH-7；75；1.9%

J-15；19；0.5%

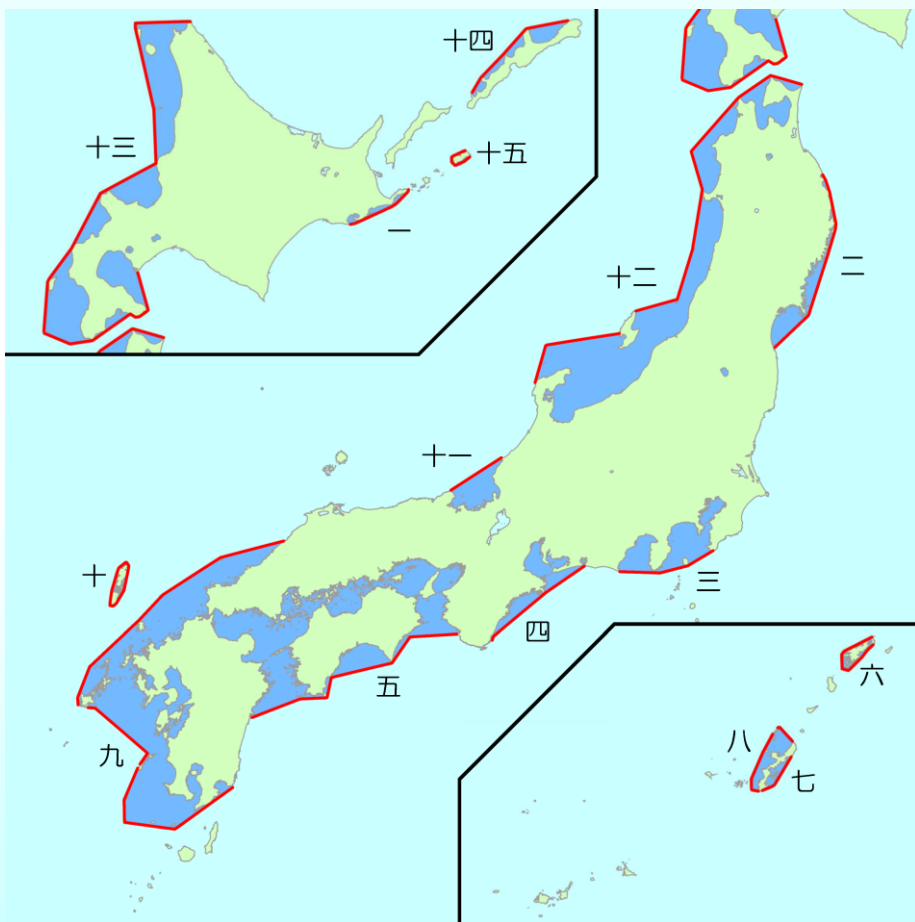
J-7；4；0.1%

★ 約70%が戦闘機・爆撃機で占めている状況

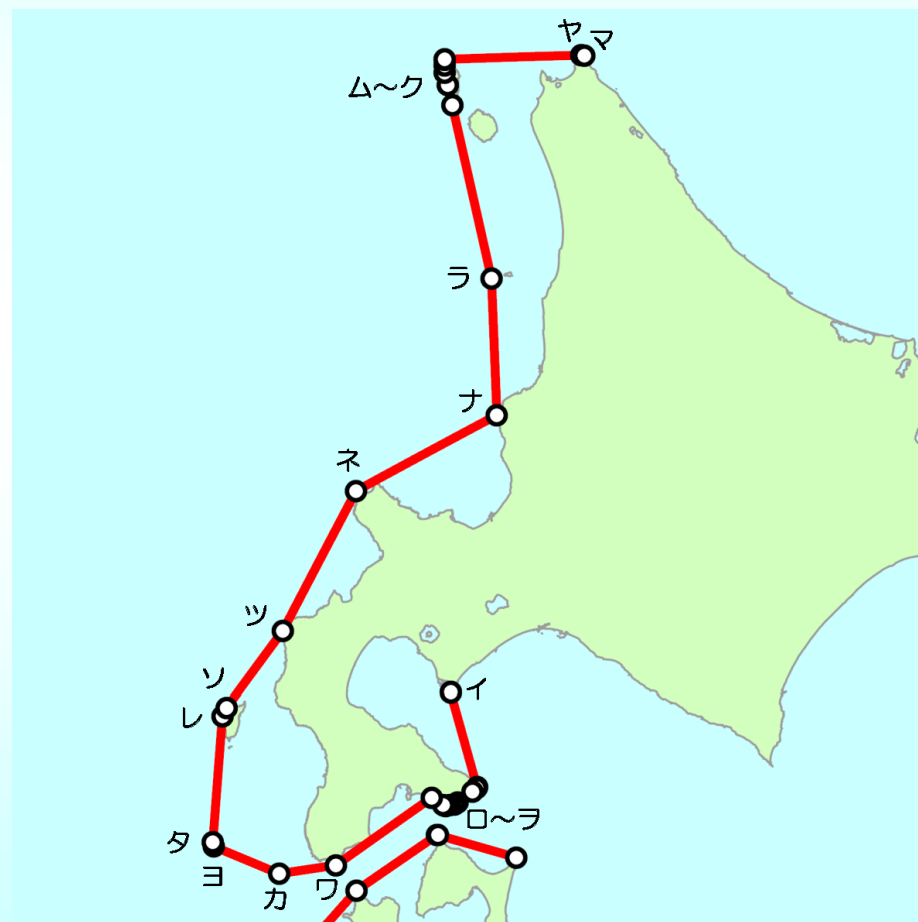
★ 過去1年間の無人機による進入が顕著に増加

国連海洋法条約に基づく直線基線

我が国は、北は北海道から南は沖縄まで、全国15の海域に直線基線を設定しています。直線基線の経緯度は「領海及び接続水域に関する法律施行令」(平成9年1月1日施行)で公示

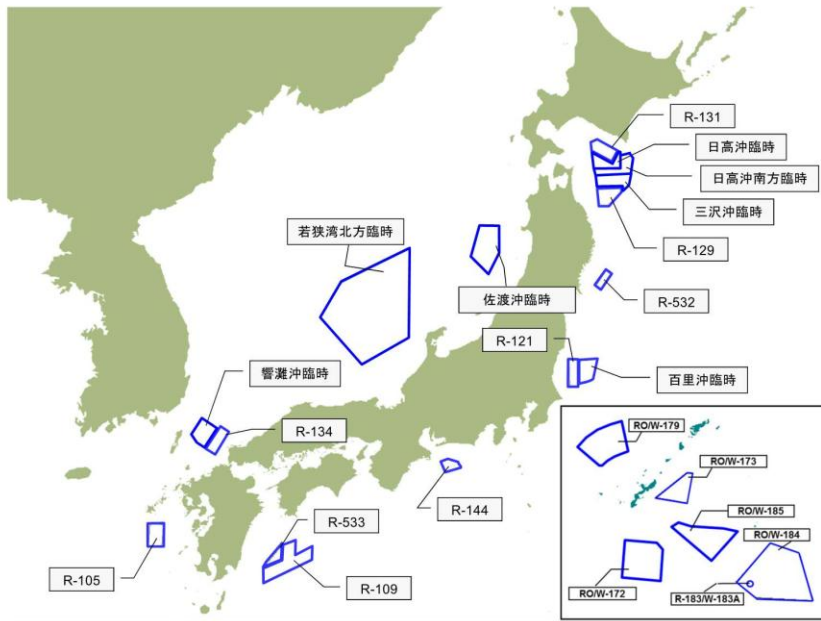


<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/ryokai/image/chokusen/chokusen.png>

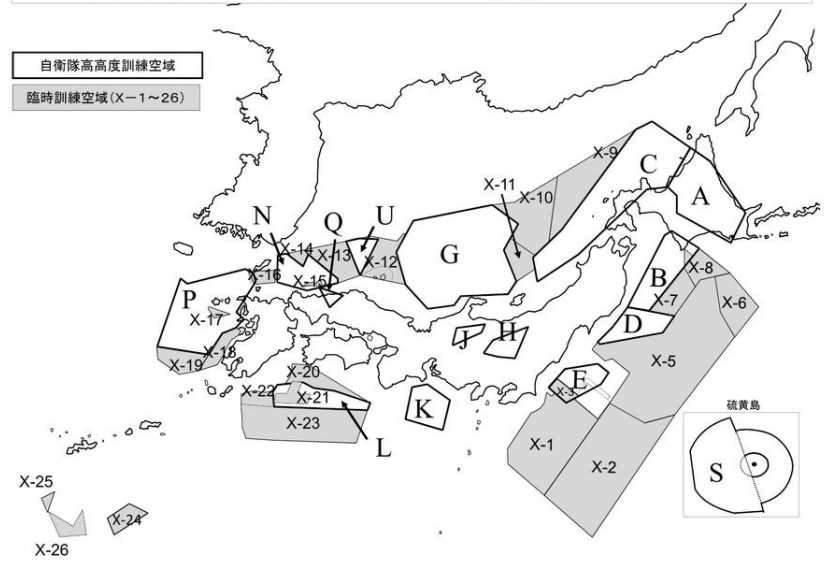


<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/ryokai/image/chokusen/13.png>

空自射撃訓練等空域



自衛隊高高度訓練試験空域及び臨時訓練空域 (X-1~26)



<https://www.mod.go.jp/j/approach/chouwa/firing/images/jasdf.jpg>

https://th.bing.com/th/id/R.2030c3b20bba25de922b66d2185b1491?rik=HnN01cGj%2fwrj%2fQ&riu=http%3a%2f%2fvs6.paperzz.com%2fstore%2fdata%2f005363235_1-fc526f96b550cc6efce402c72d8990b5.png&ehk=W85suNhg78LM1gqpxTMPamNYiJc9IwuvDYAls3upjo%3d&risl=&pid=ImgRaw&r=0